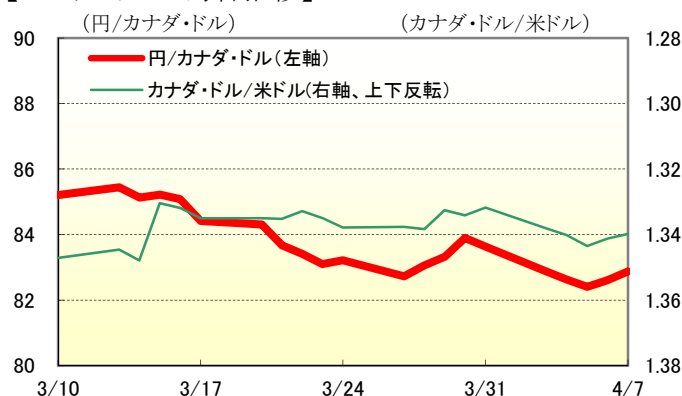


カナダの金融市場動向 Weekly Report

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は下落する一方で、カナダ5年国債利回りはおおむね横ばいとなりました。週初は米国の軟調な経済指標から、米国の金利が低下し、カナダの金利もそれに連れて低下しました。また、円高も進展したことでカナダ・ドル円相場は下落しました。週後半にかけては、米国によるシリアへのミサイル攻撃を受けて市場のリスク回避姿勢が強まる局面もありましたが、カナダの雇用者数が堅調な結果となったことに加え、FRB(米国連邦準備制度理事会)高官が利上げに前向きな姿勢を示したことで、金利は上昇し、カナダ・ドル円相場も上昇しました。

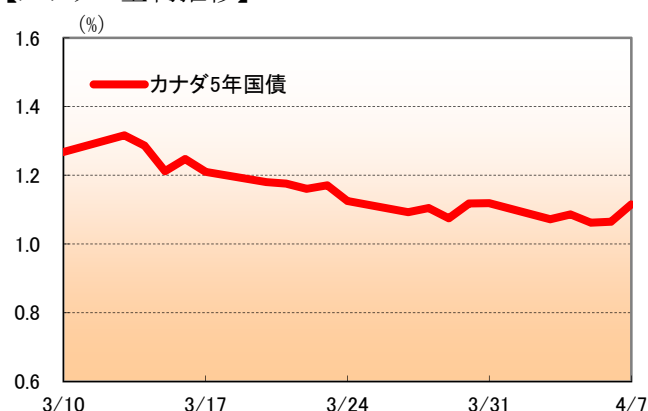
【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年3月10日～2017年4月7日)



【2】今週の見通し

今週は、カナダで政策金利が発表されます。足元の経済指標は底堅く推移していることから、政策金利は据え置きが見込まれます。また、カナダ銀行による四半期の金融政策報告書も同時に発表される予定で、景気・物価の見通しに注目が集まるとみられています。週末には米国財務省から為替報告書が提出される予定です。今回中国を為替操作国と認定する可能性は低いとの見方が広がっており、波乱なく通過するものとみられます。引き続き、シリア情勢やフランス大統領選挙への思惑が市場の注目を集めそうです。また、原油価格が堅調に推移していることは、カナダ・ドルの下支えになるとみられます。

【カナダ 金利推移】 (2017年3月10日～2017年4月7日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>